

# 2025年度 クラスだより 〈秋号〉

ひなた保育園

## 保育目標

- ・感性豊かな子ども
- ・発見できる子ども
- ・認め合える子ども

## 保育理念

子どもの力を信じ  
優しい心と豊かな感性  
を育てる

## クラスのねらい

### つくし組

- ・一人ひとりの生活リズム、個性、発達に応じた信頼関係を築く
- ・聞く、見る、触るなどの経験を通して感覚遊びを楽しむ

### せり組

- ・保育者との人間関係のもと、自分でしようとする気持ちが芽生える
- ・いろいろなものに興味を持ち、気づいたり感じたりする

### のいちご組

- ・快適な環境のもと、基本的な習慣を徐々に自分でしようとする
- ・経験の中で感じた事や、思い浮かべた事を感じたままに表現して楽しむ

### みつば組

- ・自我が成長し、自分について認識と同時に、家族、友だち等の関係が分かる
- ・感じた事や思った事を様々な形で自由に表現する

### ふきのとう組

- ・友だちとの繋がりが深まり、集団で活動することを楽しむ
- ・友だちとイメージを共有しながら、想像したことをいろいろな方法で表現する

### たけのこ組

- ・人の立場を理解して行動し、自主と協調の姿勢や、態度が身に付く
- ・友だちとイメージを広げながら、いろいろな表現を楽しみ、達成感を味わう

## 各クラスの様子

### つくし組（0歳児）

過ごしやすい季節になりました。  
最近は戸外へ探索遊びをすることが増え、靴を履いてフェンスにつかまってつたい歩きや、保育士と手を繋いで歩くのが、とても上手になりました。  
目久尻川沿いお散歩している地域の方々に、「可愛いね」「歩くの上手ね」「バイバイ」と声を掛けられる事があります。子どもたちは、可愛い笑顔でバイバイと手をふると、みんなを笑顔にさせてくれます。挨拶がとても上手です。戸外遊びのプームでは、排水溝に木の実や石を落として音を楽しんでいます。子ども達は、面白い遊びを発見して他の子は、それを見てマネをして遊ぶ姿が増えてきました。  
友だちの事がきになり始めたようですね。  
これからも、子ども達と一緒に「楽しい」をいっぱい見つけていこうと思います。



### せり組（1歳児）

過ごしやすい日が多くなり、園庭や園外に出て元気いっぱい遊んでいます。虫探しが大好きな子どもたちは、足元を見て「アリ！アリ！」と触ってみたい、バッタやコオロギを近くで見て観察したりと興味津々です。最近は、園外に行く際靴下や靴を履いたり、オムツ替えの際ズボンの着脱、エプロンを片付けるなど身の回りのことをやってみようとする姿が見られるようになってきました。  
また、お友だちと一緒に遊ぶ姿も見られ、時には「かして」「どうぞ」と貸し借りが上手になったり、お友だちの遊びを見て一緒に遊び始めるなど、お友だちの存在を意識するようになってきました。これからも友だちとの関わりを大切にしながら過ごしていきたいと思います。





## のいちご組（2歳児）

涼しい風が吹きはじめ、園庭や公園にも秋が感じられるようになってきました。園外ではコオロギやバッタなどの生き物を見つけ、「いた！」「うごいた！」と夢中になって観察したり、「どこにいったの？」と探したりと、自然の中で発見を楽しむ姿が見られます。お気に入りの散歩バッグを持って出発すると、どんぐりや葉っぱを集めて「これママにみせる！」とうれしそうに見せてくれる姿もあります。室内ではごっこあそびが盛んで、「いれて」「いいよ」「〇〇ちゃんはおはんつくってね」など、友だちとのやりとりが自然と生まれています。

時には意見が合わないこともありますが、気持ちを伝え合いながら、相手を思いやる姿も見られるようになってきました。秋の自然や遊びを通して、子どもたちの心もぐんと成長しています。



## みつば組（3歳児）

急に秋が深まりあっという間に11月ですね！気温が下がり始め戸外で遊べる機会が増えました。子どもたちは手作りのお散歩バッグを持ち、活動を楽しみにお散歩に出かけます。どんぐりがバッグいっぱいになるまで集める子、園に持ち帰りおまごや工作、楽器作りをする子、虫網をもってトンボを一生懸命追いかける子、草花を摘んで色水遊びをしたり思い思いの遊びを探索しています。

最近の子どもたちの吹き…どんぐりっていろんな形があるね！ふとっちょどんぐりはパパ、帽子が付いているのはママ、とっても小さい赤ちゃんどんぐりもあるよ！と秋見つけを楽しんでいます。植物に目を輝かせ、「これは何のお花？〇〇にも咲いていたね。このお花で色水をしたい！」などどどん遊びの輪が広がっていきます。

また、絵画の活動も始まりました。好きな色の絵の具を選び、大きな画用紙にのびのびと楽しみながら描いています。いつの間にか顔や数字、形などが描けるようになって子どもたちの成長にはとても驚き、嬉しい気持ちになりました。



## ふきのとう組（4歳児）

秋が深まり戸外で遊べる機会が増え、とにかくたくさん身体を動かして遊んでいる子ども達です。声をかけあってルールを決めながらバナナ鬼を楽しんだり、園庭遊び中に挑戦している大縄跳びでは「なんかいとべた？」と跳べた回数を友達同士で確認しあう姿も見られます。室内では廃材遊びに取り組み、園外で取ってきたどんぐりやまつぼっくりなどの木の実も素材として使いながら素敵な作品を作っています。

先日は遠足の準備、お弁当作り、ありがとうございました。出発前から「おべんとうまだ？」、公園に到着してすぐに「おべんとうまだ？」と、とにかくお弁当が楽しみで待ちきれない子ども達で、散歩中もお弁当の話で持ち切りでした。距離のある公園でしたが頑張って歩くことができ、子ども達の成長を感じることができて良かったです。

日常生活の中では1番を争ってのケンカなどささいなトラブルがまだまだありますが、どんなに小さなことでも子どもにとっては大事なことだということを理解し、気持ちを受け入れ、丁寧に関わっていかうと思います。



## たけのこ組（5歳児）

季節が進み、過ごしやすい季節になりました！「風が秋になってきたね」「木の実を集めたい！」と季節の変化を楽しむ子どもたちの声が聞こえます。コオロギを捕まえて観察したり、鳴き声を聞きながら給食を食べたりと秋ならではの体験を味わっています。

また午睡をせずに、学童や園庭で過ごす日が増えてきました。子どもたちは自分で「これやりたい！」という遊びを選び、保育室から学童へ持っていきます。「今日はなにしよう」と友だちと話し合う姿がかわいらしいです。たけのこ組ならではの遊びとしてドッジボールにも挑戦し、投げるタイミングや逃げ方などコツをつかみながら楽しんでいます。午睡があり、ドッジボールができない日は、「えー！」と残念がる様子もあります。遊びを自分で選んだり、ルールのある遊びで友だちと関わったりする中で、自分で考えて行動したり相手の気持ちを考えたりする力が少しずつ育ち、成長が感じられます。

就学に向けて午睡が減り生活リズムにも変化が見られます。ご家庭でもお子さんの様子に合わせて、休息の取り方を調節してみてください。

